



地域支援センター「みみらんど・郡山」

平成29年度 第2回 きこえとことばの基本研修会

テーマ 「発音学習の実際(実習)」 講師 芳賀公彦教諭



講演の主な内容

- 1 発音学習の目的と原因
- 2 発音指導法
- 3 発音の評価
- 4 発音学習の実際



はじめに

高性能の補聴器や、人工内耳を装着していても「発音の練習」、「日本語の獲得」は必要！

<1 発音学習の目的と原因、指導のポイント>

- 傾聴態度を育てる
- ほめながら、励ましながら(嫌いにさせない)
- 根気強く指導に当たる(一朝一夕にはできない)
- 実態に合わせて覚えやすい音から取り組む。(母音、パママ表)
- 無理には進まない。(急がば回れ)
- 音声的知識を身に付ける。(発声器官や調音点を知る)
- 発音指導と並行してキャリーオーバーの指導が必要(学習した音を般化させる)

※日本語の音韻意識を育て、日本語の獲得を目指す

<2 発音指導>

- 誘導法:遊びの中で目的の音「わんわん」
- 器具法:身近なものを利用「セロファン・ろうそく」
- 比較法:他の音と比較して発音を誘導する
- 触感法:構音部位に手を触れて音を感じ取らせる
- 色別法:音を色分けして、組み合わせながら誘導
- 統合法:既習音と音を結んで目的の音を誘導する
- サイン法:指導者と子どもとの間で約束された発音サイン
- 混合法:あらゆる指導法を組み合わせる方法

<3 発音の評価>

「発音明瞭度検査」:筑波大学附属聾学校
(現:筑波大学附属聴覚特別支援学校にて考案)

<4 発音学習の実際>

- 「音器」→発音するための舌や顎・唇などをいう
- 「音器訓練」舌や顎・唇などの運動
- イモ舌→スプーン舌をつくる
- 息づかいの練習→細く長く息を出す練習
例:「ろうそく」「ストロー」「吹き戻しなど」

「ウェファ・メソッド」に挑戦!

掘田勝俊(品川ろう学校玉川分校)考案

- ① 上唇につけたウェファを舌先でとる
- ② 下唇につけたウェファを舌先でとる
- ③ 唇につけた2枚のウェファを舌先でとる
- ④ ウェファを舌先でなめさせ、穴をあけさせる
- ⑤ 穴の開いたウェファを、手を使わずにリング状に食べるなど

母音はすべての音の土台!

<参加者の感想> 「発音学習」について、経験談や「ウェファ」や「ポーロ」を使っただけの訓練の実際、また様々な教材づくりを通して、楽しく研修を行いました。また、発音指導について、それぞれの抱えている疑問点や意見などについて、アドバイスをいただき、有意義な時間となりました。